9月議会報告・・・・平野ふみかつ市議の質問から・・・・

長期病休教員の欠員

県・市が責任をもって補充を！

毎年、十数名の長期病休者

平成25年度、市内の小中学校での長期病休教員14名に対して、年度末になっても7人が補充されませんでした。昨年度（平成26年度）も、16名の長期病休者がでましたが、年度末まで補充されたのは11名だけでした。

学級担任が長期病休になったら、学校内人事のやりくりで対応せざるをえません。また学校の教員がツテを頼って代替教員を探しているのが実態です。

深刻な事態と、深く認識を

平野市議は「県・市が責任を持って補充を」と強く求めました。寺岡教育長は「県に対して強く申し入れる」と答弁しましたが、平野市議は「事態の深刻さを深く認識して、行政が責任をもって一刻も早く対応してほしい」と強調しました。

A学校では学級担任をしていた臨時教員が突然やめました。その補充として音楽専科の教員を配置しましたが、その専科の代替を探さなければなりません。ようやく音楽専科をしていた元教員が代替に来てくれることになりましたが、その元教員もすでに他の学校で初任者研修の代替教員として仕事をしており、A学校の教員が手分けして別の元教員をその代替の仕事を引き受けてもらい、ようやく一件落着しました。

こうしたことが、市内の多くの学校で起こっているのです。

病休者の大半はメンタル（心の病）

一昨年度（H25）の１ヶ月以上の長期病休者は14名、そのうち11名がメンタルでした。昨年度（H26）は16名で、そのうち9名がメンタルでした。

なぜ今、学校の教員が心の病に追い込まれるのか、この背景には、自民党政治のもとで教育現場がおかれている深刻な実態があります。

日本共産党別府市議団
げんきニュース
平野文活（21-6749）竹内よしひろ（24-8061）
2015年9月20日
別府市石垣西8丁目2-31
TEL22-6576　Fax23-6529
NO, 648

9.13 戦争法案ストップ！
別府集会に、参加しました！

大幅に延長された国会もいよいよ大詰め。9月13日に海門寺公園で開かれた3回目の別府集会に、平野ふみかつ、竹内よしひろ両市議も参加しました。

この集会には約二百人が参加し、回を重ねるごとに参加者が増えています。ママの会代表、現職の教員などがスピーチし、集会後、駅前通りをパレードしました。

沿道の通行人が飛び入りで参加したり、コールに合わせて声をあげるなど、市民との連帯がすすんだ行動になりました。

1回目（7/31）は60名、2回目（8/30）は160名、今回（9/13）は195名、回を重ねるごとに参加が広がり、国会に向けて声をあげました。

↑　大学の先生

↑　APUの韓国留学生

↑　野口教会の牧師さん